

研究概要

1. 研究名称 または課題名テーマ等

外来血液透析患者のサルコペニアに対する他職種介入の検討

2. 研究責任者(当院)

所属：看護部 透析室
氏名：石村 和美

共同研究の場合は代表機関 及び 代表者名

機関名：なし
代表名：なし

3. 分担研究者

所属：腎臓内科
氏名：藤井隆之

所属：看護部 透析室
氏名：石村 和美、永田 愛子、井上 利紗

所属：臨床工学室
氏名：阿部 拓馬、福元 麻衣子

所属：リハビリテーション室
氏名：三嶽 侑哉

4. 研究対象者

2021年6月1日～2021年8月31日の間に、聖隷佐倉市民病院において
外来通院にて血液透析を受け、且つ同意書に署名された方。

5. 研究の必要性

近年、血液透析患者において、サルコペニアと言われる方が多いと報告されており、血液透析患者のサルコペニアは、転倒のリスクや死亡率の増加に関連するとされている。現在、聖隷佐倉市民病院に外来通院している血液透析患者は260名程度だが、転倒や歩行困難により、当院の透析に通院することが困難となる方がいる。当院の外来透析に通院している透析患者のサルコペニアの割合と特徴を明らかにすることで、サルコペニアを予防するために他職種でどのように関わる必要があるか提案することができると考えられる。

6. 研究等によって生ずる個人への影響と医学上の貢献の予測

研究等によって生ずる個人の影響は、透析後に筋肉量を計測するために5分ほど同一の姿勢をとる必要があるため、身体的、精神的負担がかかる可能性があること、生体電気インピーダンス法(BIA)・体組成計を手指、足首に装着することにより不快感を感じる可能性があることが考えられる。対策として、研究途中であっても、対象者が心身のストレスを感じた場合、いつでも研究離脱が可能である事について研究依頼書に記載し、口頭でも十分説明する。今回の検討により医学上の貢献の予測としては、今後の発展的研究につながり、透析患者のサルコペニアに対して他職種での関わり方の提案につながると考えている。

7. 対象者、関係者等からの問合せ先(当院)

連絡先番号：043-486-1151 (代表)
担当者氏名：石村 和美、永田 愛子、井上 利紗
対応時間：8:30～17:00

共同研究において専用窓口がある場合
該当なし

※ご注意

対象者とは、本研究に参加された方です。
お問合せは、本研究に参加された方と
研究関係者のみで、その他の方へのご対応
はできませんので、予めご了承ください。